

## 教育研究業績概要

氏名 堤 智 斉 ( )				
研究分野		所属学会等の名称		
細胞生物学		日本薬学会、日本解剖学会、日本生化学会、日本分子生物学会		
担当授業科目名 人体構造機能学 I, II、生物系薬学実習 I, II				
教育上の能力に関する事項				
事 項	年	概 要		
1 教育の実践例、教育に関する評価等 授業評価改善賞	2016	学生からの授業評価が前年度より大きく改善した。		
2 作成した教科書、教材、指導書等 医療人の基礎知識	2014	共著 46 名、三重大学出版会、pp46-47		
3 教育実践に関係がある実務経験・委員・ 講師等				
職務上の実績（学術団体や社会等における活動）に関する事項				
事 項	年	概 要		
1 資格、免許、特許、受賞等 薬剤師免許	1992	授与権者；厚生省		
2 学術・社会活動上の・委員・講師・実務 経験等				
研究業績等に関する事項				
著書名、報告書名等	単・共 著の別	発行年	発行所等の名称	著者名・ページ数等
(著書) ・ ・ ・				
(報告書等) ・ ・ ・				
学術論文 学会発表等の題名		発表者名	発表誌名・巻・ページ・発表年等 学会名・発表年・開催都市名等	
(学術論文) ・Overexpression of the signal peptide whirlin isoform 2 is related to disease progression in colorectal cancer patients. ・ 17-β-estradiol enhances neutrophil extracellular trap formation by interaction with estrogen membrane receptor. ・ Formation of neutrophil extracellular traps in mitochondrial DNA-deficient cells. ・ほか 17 編		Toiyama Y, Mizoguchi A, <u>Tsutsumi T</u> , ほか 5 名、5 番目 Yasuda H, Sonoda A, <u>Tsutsumi T</u> , ほか 6 名、7 番目 Takishita Y, Yasuda H, Tsutsumi T, ほか 5 名、6 番目	International Journal of Oncology 35: 709-715, 2009 Archives of Biochemistry and Biophysics 663: 64-70, 2019 Journal of Clinical Biochemistry and Nutrition 66: 15-23, 2020	
(学会発表等) ・Ste20 類縁プロテインキナーゼ SPAK が神経芽細胞の神経突起伸長に及ぼす影響 ・ Ste20 類縁プロテインキナーゼ SPAK の細胞特異的分布		川添愛梨, 久保田貴裕, <u>堤智斉</u> , ほか 2 名 久保田貴裕, 川添愛梨, <u>堤智斉</u> ,	第 60 回 日本薬学会東海支部大会 2014 鈴鹿 第 60 回 日本薬学会東海支部大会	

<p>・ Ste20 類縁プロテインキナーゼ SPAK が神経突起伸長に及ぼす影響</p> <p>・ その他 36 件</p>	<p>ほか 2 名 森田明広, 奥村太陽, <u>堤智斎</u>, ほか 2 名</p>	<p>2014 鈴鹿 日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2017 鈴鹿</p>
<p>(その他)</p>		